

昭和45年度下半期

豊島区公告第24号

東京都豊島区財政状況の公表に関する条例の定めるところにより本区財政状況を次のとおり公表いたします。

昭和46年6月18日

東京都豊島区長職務代理者

助役 日比寛道

豊島区財政状況のあらまし

本区の財政状況につきましては、毎年2回にわたり区民のみなさんに公表しております。今回は昭和45年10月1日より昭和46年3月末日にいたる本区の財政状況と昭和46年度の予算についてその概要をお知らせいたします。

1. 昭和45年度予算の概要

前回の公表で、お知らせいたしましたように「区民の幸せづくり」を目標とし、45年10月1日以後、一般会計で3億3,762万9千円、特別会計で1,508万9千円を追加しましたので、最終予算額は右表のようになりましたが、両会計を合せ100億円の大台に乗りました。

それでは、補正予算の主な内容を会計別にご説明いたします。

Table with 4 columns: 会計区分, 前回までの公表額, 補正予算額, 計. Rows include 一般会計, 公益質屋事業会計, 国民健康保険事業会計, and 合計.

(1) 一般会計

【補正3号 70,277千円】

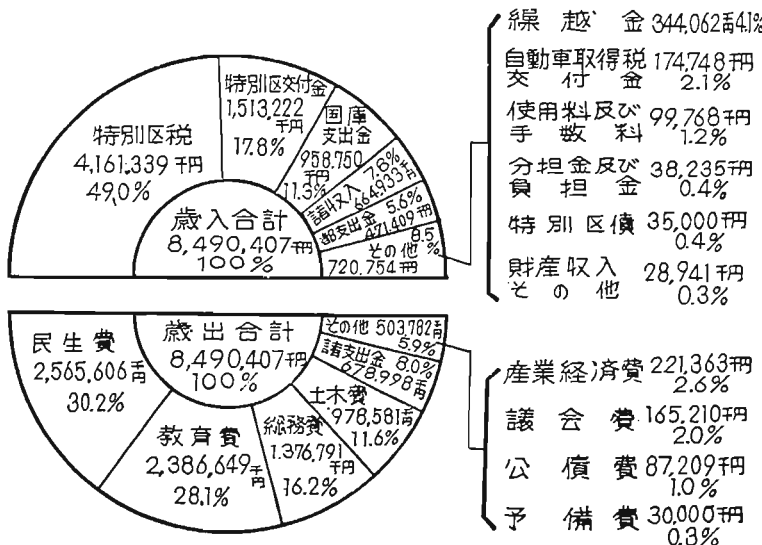
- 都知事及び区議会議員選挙準備費 7,966千円
児童の保育委託費追加額 7,184千円
老人健康診査消化管検査委託料 4,200千円
下水道助成費追加額 2,739千円

【補正4号 267,352千円】

- 給与改定による職員関係費追加額 221,149千円
交通災害共済分担金 8,030千円
庁舎冷暖房設備工事設計委託料 5,656千円

- 簡易舗装工事費追加額 10,575千円
小中学校義務教育国庫教材費追加額 3,228千円
小中学校理科教育振興法設備費 3,904千円
産業教育振興法設備費 1,950千円
校庭開放事業施設整備費 4,500千円
千早図書館初年度調弁費 18,276千円
その他 5,755千円
児童保育委託費追加額 5,190千円
国民年金印紙購入費追加額 24,000千円
その他 3,317千円

下半期における補正予算の概要は以上のとおりですが、45年度の一般会計最終予算額を構成比別にみますと次のようになります。



(2) 特別会計

まず公益質屋事業会計では、貸付金の追加として642万円を補正3号に、給与改定に伴う人件費追加額として434千円を補正4号にそれぞれ計上いたしました。
また国民健康保険事業会計では、補正4号に給与改定に伴う人件費追加額の823万5千円を計上いたしました。

- 繰越金 344,062千円 4.1%
自動車取得税 174,748千円 2.1%
交付金 99,768千円 1.2%
使用料及び手数料 38,235千円 0.4%
分担金及び負担金 35,000千円 0.4%
特別区債 28,941千円 0.3%
財産収入 28,941千円 0.3%
その他 720,754千円 8.5%
民生費 2,565,606千円 30.2%
教育費 2,386,649千円 28.1%
土木費 978,581千円 11.6%
総務費 1,376,791千円 16.2%
その他 503,782千円 5.9%
請求支出金 278,998千円 3.3%

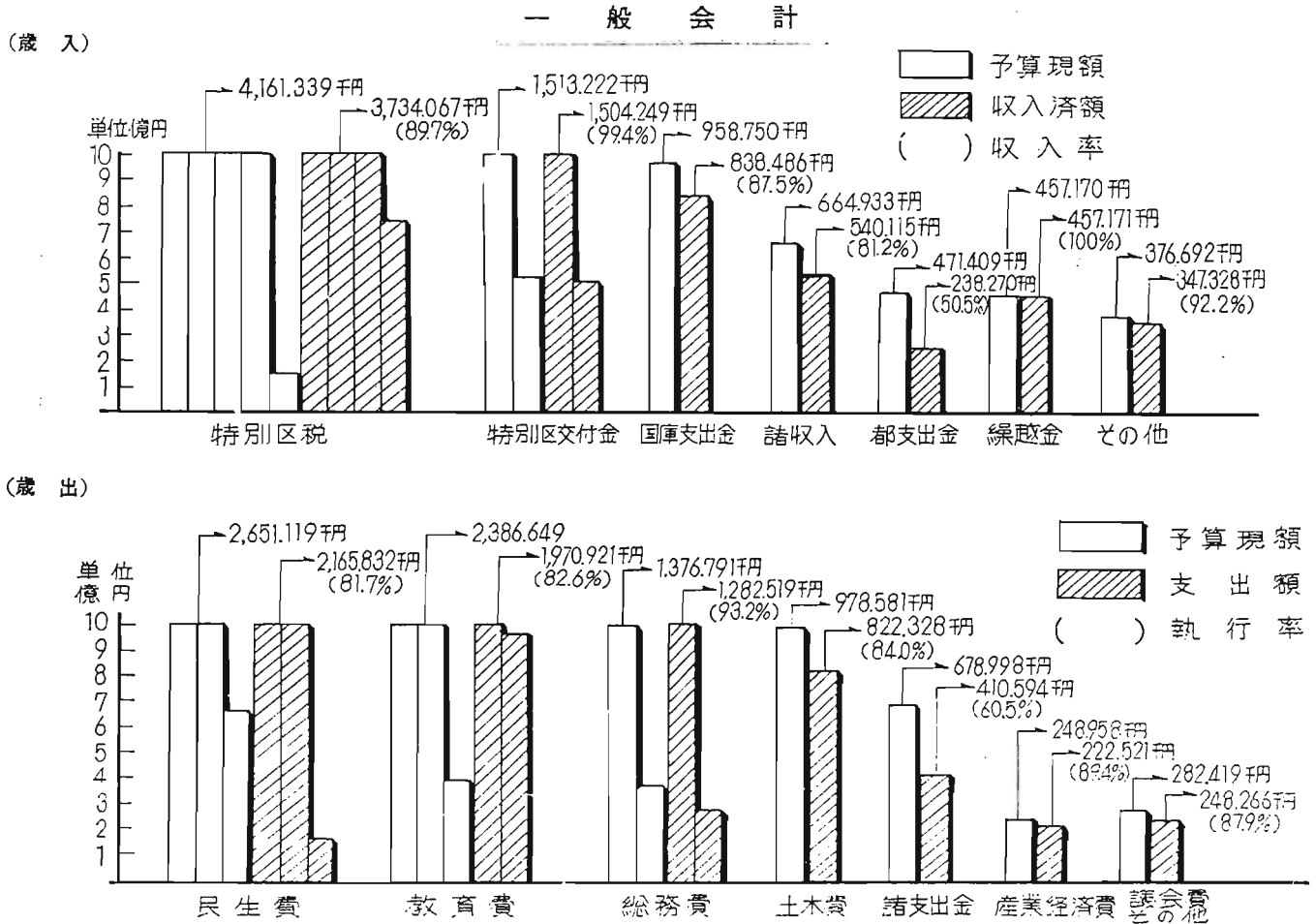
2. 収入・支出の状況

ここでは、昭和45年度の3月末日現在における収入・支出の状況をご説明いたします。なお、この数字は3月末日でおさえていますので、5月31日の出納閉鎖までには、かなりの伸びが予想されます。

(1) 一般会計

まず歳入をみますと予算現額86億351万5千円に対し、収入済額は76億5,968万6千円となっており89%の収入率を示しています。このうち特別区税の収入済額は、前年同期より4億3,690万4千円増えています。歳出では71億2,298万1千円が執行され82.8%の執行率となっています。

これらの状況をグラフにしますと次のようになります。

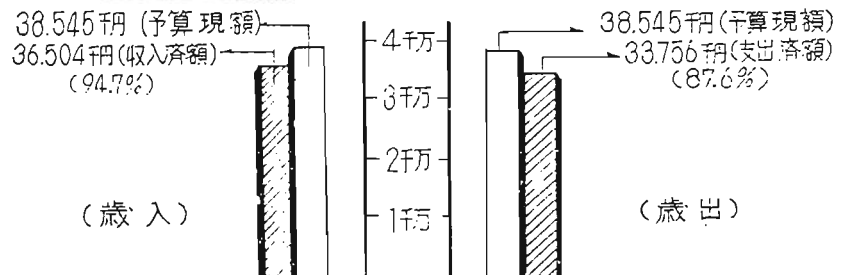


(2) 特別会計

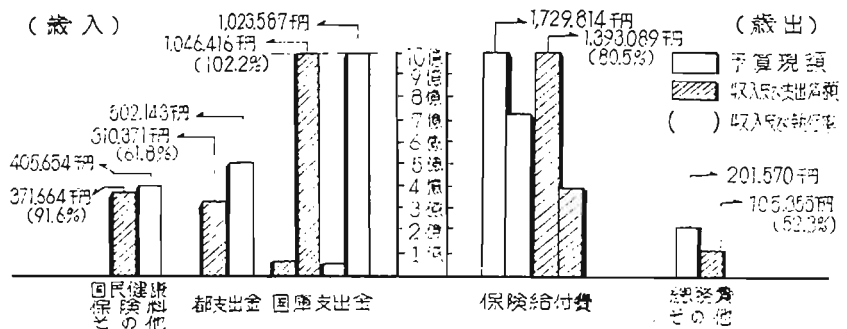
特別会計とは、特定の事業を行なうものについて、一般会計と区分して経理する必要がある場合に、法律または条例に基づいて設けられるもので、本区においては公益質屋事業会計と国民健康保険事業会計の2つが設定されています。

今期における収入支出の状況は、右のグラフに示すとおりですが、両会計とも順調な執行状況といえます。

公益質屋事業会計



国民健康保険事業会計



区民のみなさんが直接負担されます特別区民税額は、昭和46年3月末日現在28億1,778万2千円となっております。これにより区民1人当たり及び1世帯当りの負担額を算出しますと次のようになります。

(昨年同期と比較)

年 度	区民税現年度調定額 千円	人 口 人	世 帯 世帯	1人当り負担額 円	1世帯当り負担額 円
45年 度	2,817,782	326,223	136,824	8,638	20,594
44年 度	2,368,350	332,061	137,025	7,132	17,284
増(△)減	449,432	△ 5,838	△ 201	1,506	3,310

4. 一時借入金の状況

一時借入金とは、一会計年度中に一時的に現金が不足した場合に、これを補うため、実際の現金収入があるまで、市中銀行などから短期間借り入れ、収支の均衡を保つための資金のことです。

議決された借入金の限度額は3億円でしたが、本区は幸いにして45年度は収支状況がよかったので一時借入金はありませんでした。

5. 区有財産の状況

区は事務事業を執行したり、区民の利用に供するため、総合庁舎、図書館、公園、区民センター、教育施設等いろいろな財産を有しています。

昭和46年3月末日における区有財産の現在高は次のとおりです。

種 類	数 量	価 格	摘 要
土 地	450,946.33㎡	6,216,262千円	庁舎・学校・公園等の敷地
建 物	245,709.46㎡	6,187,780	庁舎・学校・公会堂・区民施設等
工 作 物	1,720件	809,428	街路灯等
物 品	287,787点	1,677,410	自動車・事務用器具等
貯 金	8口	90,400	庁舎整備積立金
有 価 証 券	389枚	12,273	株式・電話債権等
地 上 権 等	1	1,497	地 上 権
計		14,995,050	

6. 特別区債の状況

特別区債とは、多額の財源を必要とする児童公園や保育所、または学校等の建設費に充てるため、政府や銀行などから資金を借り入れ、長期間にわたって

返済する制度のことです。

昭和46年3月末日における特別区債の現在高は下表のとおりです。

借入先	起債の目的	教 育 債	土 木 債	民 生 債	計
市 中 銀 行		127,300 千円	139,000 千円	37,800 千円	304,100 千円
政 府		85,849	37,500	—	123,349
計		213,149	176,500	37,800	427,449

7. 昭和46年度予算の概要

(1) 一般会計

本年度の予算編成にあたっては「豊かな人間環境の創造」を目標とし、◇公害防止対策の強化のための施策 ◇社会体育振興のための施策 ◇幼児保育の拡充のための施策 ◇義務教育施設の整備のための施策、以上の四本の柱を重

点施策として編成いたしました。

このような方針に基づき編成しました予算額は93億7,090万8千円となり昨年に比べ19億9,020万8千円の増27%という大巾な伸びとなっています。

次に四本の柱を中心とした主な内容をご説明いたします。

◇公害防止対策の強化のための施策

住民検診及び児童生徒の検診費	千円
1,764	
校庭及び児童遊園の樹木植樹経費	4,805
学校医薬品配付経費	850
公害P.R.及び環境調査費	4,454
校舎騒音防止対策費	8,300
公害防除設備資金	1口 3,000

◇幼児保育の拡充のための施策

保育所建設費	千円
370,497	
保育所保育充実関係費	50,699
公私立保育所の給食完全実施経費	45,772
私立保育所及び未認可保育所助成費	10,749
幼稚園建設費	44,625
私立幼稚園補助経費	2,678
児童館建設費(2カ所)	50,831
児童遊園の新設及び整備費	119,307

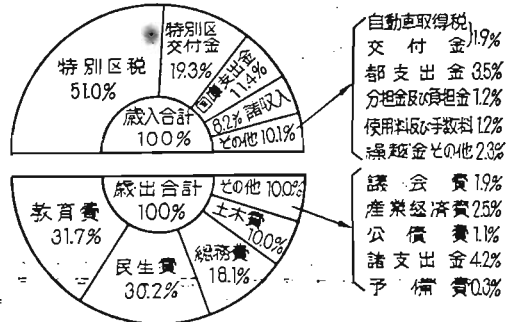
◇義務教育施設の整備のための施策

校舎改築費	千円
767,695	
第十中学校給食室建設費	13,324
プール建設費(朝日中・長崎中)	35,393
教育用品の整備充実費	45,393
学校維持補修関係費	96,049

そ の 他

交通安全対策費	千円
30,948	
道路新設改良費	198,400
広報・広聴関係費	22,429
青少年対策費	11,128
生業資金関係費	25,000
老人福祉対策費	33,618
商工融資事業関係費	171,778

以上が46年度の重点施策の内容ですが、これを款別に前年度と比較しますと次表のようになります。



自動車取得税交付金 1.9%
都支出金 3.5%
分担金及び負担金 1.2%
使用料及び手数料 1.2%
繰越金その他 2.3%

議会費 1.9%
産業経済費 2.5%
公債費 1.1%
諸支出金 4.2%
予備費 0.3%

昭和46年度一般会計歳入歳出予算前年度比較表

(歳入)

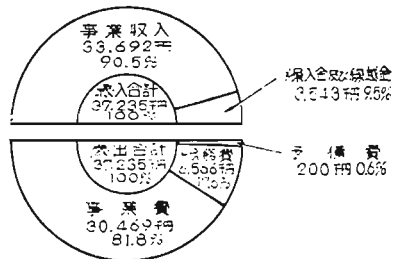
款	46年度		45年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増(△)減	伸率
特別区税	4,776,934	51.0%	4,085,169	55.3%	691,765	16.9%
自動車取得税交付金	174,748	1.9%	149,027	2.0%	25,721	17.3%
特別区交付金	1,810,811	19.3%	997,732	13.5%	813,079	81.5%
交通安全対策特別交付金	12,716	0.1%	18,647	0.3%	△5,931	31.8%
分担金及び負担金	109,925	1.2%	35,826	0.5%	73,999	206.6%
使用料及び手数料	112,172	1.2%	99,768	1.3%	12,404	12.4%
国庫支出金	1,064,111	11.4%	943,433	12.8%	120,678	12.8%
都支出金	333,684	3.5%	395,804	5.4%	△62,120	15.7%
財産収入	8,207	0.1%	8,069	0.1%	239	3.0%
寄附金	1	0.0%	301	0.0%	△300	99.7%
繰入金	89,675	1.0%	—	—	89,675	—
繰越金	105,888	1.1%	48,585	0.7%	57,303	117.9%
諸収入	772,036	8.2%	598,340	8.1%	173,696	29.0%
合 計	9,370,908	100.0%	7,380,700	100.0%	1,990,208	27.0%

(歳出)

款	46年度		45年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増(△)減	伸率
議会費	172,309	1.9%	158,720	2.2%	13,589	8.6%
総務費	1,692,597	18.1%	1,241,404	16.8%	451,192	36.4%
民生費	2,830,532	30.2%	2,353,575	31.9%	476,957	20.3%
産業経済費	234,543	2.5%	217,203	2.9%	17,340	8.0%
土木費	940,257	10.0%	813,675	11.0%	126,582	15.6%
教育費	2,971,713	31.7%	2,036,745	27.6%	934,968	45.9%
公債費	102,473	1.1%	86,367	1.2%	16,106	18.7%
諸支出金	396,484	4.2%	443,011	6.0%	△46,527	10.5%
予備費	30,000	0.3%	30,000	0.4%	—	—
合 計	9,370,908	100.0%	7,380,700	100.0%	1,990,208	27.0%

また、構成比別にみますと上図のとおりですが、全体の62%を民生費と教育費で占めていることが目につきます。

公益質屋事業会計



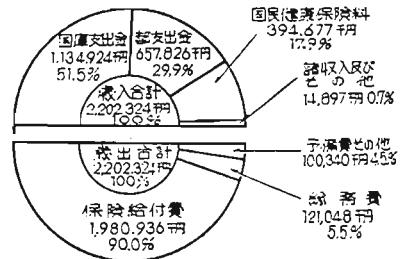
(2) 特別会計

まず公益質屋事業会計の本年度予算3,723万5千円は、前年度に比べ554万4千円の増となっていますが、これは貸付金等が増えたことによるものです。

また国民健康保険事業会計での本年度予算、22億232万4千円は、前年度より2億8,311万8千円増えています。これは1人当りの費用額及び受診回数増により保険給付費が増加したことによるものです。

これを構成比別にみますと次のようになります。

国民健康保険事業会計



以上によりまして、昭和45年度下半期における財政の現状と昭和46年度予算についてその概要をお知らせいたしました。
本区の財政規模は年々増加膨大になっておりますが、流動的な社会情勢に

対処するため、最少の経費で最大の効果をあげるべく努力するつもりです。
今後とも区民のみなさまの深いご理解とご協力をおねがいいたします。